

鷹狩人と蟹場温泉 (秋田駒岳・乳頭山)

日時四月三日～五日
メンバー 藤谷 佐々 福田

田代湖国際スキー場のリフトで五百羅漢まで登る予定でしたが、機械整備のためリフトが運休であるとの事で、栗石よりタフシーで国見温泉から入山する事にしました。温泉よりスキーをやって登行します。静かな谷間味の枝々でワグワグが鳴り出して、のびやかな響きとびくびく横長根へ着きます。この尾根は名前の通り横に長い尾根で、強い傾斜もあまりなく、景色をみかねて三つ横に並んでスキーを登行できる程です。横岳直下トラバースギに横切って、駒岳と女岳に近づいて入る様にして避難小屋があります。新築の大変清潔で綺麗な小屋です。ここで一泊しては、気分もあつたが、先の行程が長いので早々と小屋を存せて出発します。小屋の斜面降りて横岳をまいて、湯の森の山へ向かいます。針丸の程の高さで、雪が積もっている箇所があり、乳頭山が只管だだっびり湯の森山へめどります。この尾根筋を下って熊見平より尾根の西側にコースをまいて、栗森山へ到着。栗森山1541m 並りからガスが出て来て、コバと地図を頼りに、乳頭山1477mとめどります。この道はかなりのアツク、ダウンがあるが、又、夕刻も近づいているので、気持のあせるとです。

乳頭山につき上げる尾根には10m程の高さで雪庇の張出しがあるので、スキーはすして慎重にキックステップで尾根の上に体をひたす。この風が吹くのは尾根上と乳頭山の向かいます。頂上で休憩時間となるので、岩で固まっている尾根を下り一本松などの分析点で完全に日陰になり、皆へソコラングで履物に靴のままわすかが見えるソコラングをはずさない様にして田代平をめどります。途中、田代平山系に他のメンバーが次々発見して、懐中電燈を点滅して、小屋の場所を教えるので、このラングの点滅で返事を返します。田代平山系に着く時三つ。皆、履物を休む夕飯を作ります。僕は今日一日靴や下着がくたくたで濡れてしまったので、暖炉で濡れ物と靴を乾かして早くと寝る事にしました。皆、つかり疲れている様子で早くも静かな寝息を立てています。

鷹狩人が泊っているです。

鷹のキキといつ鳩の声が目と耳に響きます。雨が降りだして、小屋の外へ飛び出すのは、この雨で退屈しているのか、雨の羽を広げると一m以上の長さになります。朝食後、雨がシズクに変わったので、おぼろから湯の森山の方へ向かいます。途中、蟹場の分析点手前で、サヤル木が不明となり、乳頭山へ戻って林間の尾根と蟹場温泉へ下ります。温泉の裏側より小川をまいて、正面玄関へ回り、ちつと休憩のつもりが、結局宿泊の事かほした。一泊二層四軒との、比較的安い料金と昨日の小屋の夕飯と違って豪華な夕飯が気と良くて、夜中まで酒盛り、昨日一日の苦しかったとスリリングな山行を語り合っていました。

福田